

2023

平和コンサート

in ながよ Vol.24



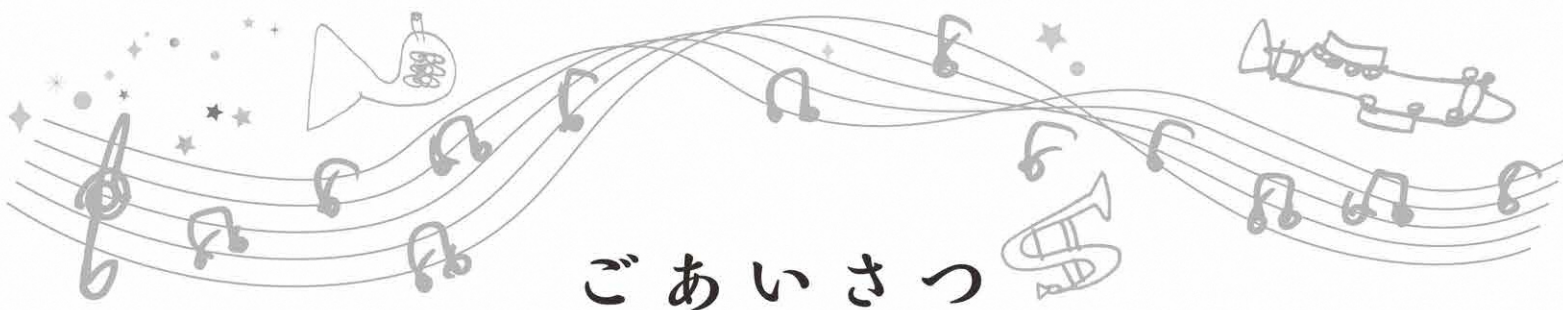
2023年

8/6 日

長与町民文化ホール

開演 14:00

作品のプロフィールは3ページで紹介しています。作品の複製及び転載は禁止します。



長与町長 吉田 慎一

本日はご来場いただき、誠にありがとうございます。

指方実行委員長をはじめ、実行委員会皆さまのご尽力により、「平和コンサート inながよ」が開催されますことを、心より感謝申し上げます。

被爆から78年が経過し、戦争や原爆の悲惨さなど、記憶の風化が懸念されるなか、長与町では核兵器の廃絶と恒久平和を願い、平成6年に「平和で安全な町」宣言を行い、様々な平和事業に取り組んでまいりました。昨年は、二度と核兵器による惨禍が繰り返されないことを願うとともに、長崎に原子爆弾が投下された直後に、爆心地付近まで蒸気機関車を乗入れ、被爆者を医療施設等へ搬送した「原爆救援列車」の活躍を後世に引き継ぎ、被爆体験を継承するため、長与駅前につき、道ノ尾駅駅舎前にも、救援列車を象徴した『車輪モニュメント』を設置いたしました。

本日開催されます平和コンサートも、平和の尊さ、そして戦争の惨禍の記憶を風化させることなく後世に引継ぎ発信していこうとの思いがつながり今回で24回目を迎えました。今年のコンサートは、高校生による「平和の詩朗読」をはじめ、5月から一生懸命練習に励んだ「子どものための弦楽器講座」の皆さまの演奏や「平和コンサート inながよ合唱団」の皆さまの合唱、そして「長崎OMURA室内合奏団」、「ジュネス弦楽アンサンブル」の皆さまによる演奏をお楽しみいただきます。出演者一人一人の平和への想いに、耳を傾けていただければと存じます。また、プログラム表紙の絵は町内在住の方の作品です。プログラムにプロフィールを、ホワイエに作品を展示しておりますので、ぜひご覧ください。

結びに、本日のコンサートに出演される皆さま、ご指導や運営に携わっていただきました皆さま、そして本日お越しいただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。そして、すべての皆さまとともに、平和の祈りが世界のあらゆる人々の心に届きますことを祈念し、開催にあたりましての挨拶といたします。



平和コンサートinながよ実行委員長 指方 浩

皆様今日は「平和コンサートinながよ」にご来場くださりまして誠にありがとうございます。音楽を奏でることで世界の平和を願うこのコンサートも24回目を迎えます。これも平和宣言の町長与町、そしてこの企画に賛同し来場し支えてくださった皆様方のおかげと深く感謝申し上げます。

4年前より世界中に蔓延したコロナ、この人間中心の営みをもたらした自然破壊を一つの因とするコロナ禍が、更に自国あるいは自分の民族中心の経済政策を推し進め、世界中に紛争の緊張の高まりをみせ、その解決の糸口が見つからずますます混迷を深めています。

その中であって音楽は、人間の生活・営みの二次的なものに貶められ、音楽の演奏行為においても経済効果のある音楽興行が優先され、創造的な演奏活動は衰退しているかに見えます。また、「〇〇の復興を願う」・「〇〇を支援する」を掲げた反戦コンサートにしても演奏にたいする取り組み・姿勢が、その選曲も相まって「〇〇の為の」という目的達成の為の演奏行為になり、そのため演奏者は願いと祈りを込め演奏に集中しても、その立場を表明し表現したという自己満足になりかねず、平和が成就するまでは、心は真に安穩ではありません。

その中であって本日演奏する子ども達の演奏に対する直向きな姿は、平和のためという崇高な演奏行為さえも飛び越え、純粹に音楽の演奏に没頭しています。その姿は、百パーセント平和に等しいと云えます。私たちはこの紛争の絶えない不協和な世界の中での演奏行為であっても、響き合う音楽の中に、演奏する側もその演奏を聞く側も共に音楽そのものが作り出す「和した世界」に耳を傾けたいものです。そこに、この行き詰まった現況を超える「平和の響き・真実の願い」が聞こえてくると思います。紛争の終結を願いつつ、音楽の演奏の中に平和の安らぎの光を先取りしたいものです。

戦争がなくなり、この平和コンサートの一つの役割が終わるといいと思います。そして「平和を願う〇〇コンサート」から平和を喜び感謝する「平和コンサートinながよ」になり、日常の音楽演奏行為がそのまま平和の活動・生活になりますよう、ご一緒にステージの演奏に耳を傾けていきましょう。そして本日のプログラムの最後、理想郷としての「ふるさと」に思いを寄せながら皆様と一緒に歌い、平和への願いをともにしたいと思います。

本日はありがとうございました。



「平和で安全な町」宣言



－核兵器の廃絶を願って－



平和祈念碑「愛・二人」

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

1994年9月19日

長崎県西彼杵郡長与町



令和5年度 長崎県障害者芸術文化活動普及支援事業



「平和コンサートinながよ」イラスト提供者

城 瑠那子 (24) 長与町在住

長崎県生まれ。3歳で自閉症と診断され、同じころ、絵を描きはじめる。

中学の時、長崎市のNPO法人ツナグ・ファミリーのアートワークスにであい、グループ展や、アートイベントなどに参加している。

2020年には、「日本博を契機とした障害者の文化芸術フェスティバル『オール・ブリュット-日本人と自然in九州 (長崎県美術館)』」に選出されるとともに、本県から唯一、同フェスティバル グランドオープニング展覧会 (滋賀県) にも出展された。

また、同年、「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭 (東京都江東区)」にて奨励賞を受賞。

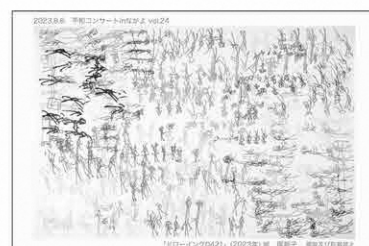
ドローイング作品、イラスト作品ともに、スピード感のあるタッチが特徴。

イラスト作品は『jou jou』の名前が使われることもある。

現在、諫早市の就労継続支援B型事業所スタンドファーム・アストルテで、アクセサリやアート雑貨を制作中。



Vol.24 プログラムイラスト



Vol.24 ポストカードイラスト

城氏のイラスト作品をホールのホワイエにて展示しております。



子どものための弦楽器講座



平和への思いを若い世代へ引き継いでいきたいとの願いから始まった「子どものための弦楽器講座」も、今年で15回目を迎え、今回は町内の小学生21名が参加しました。

ほとんどの受講生が弦楽器は未経験で、楽器の持ち方に始まり、弓の動かし方、弾くときの姿勢、楽譜の読み方など、5月からたくさんのお話を勉強してきました。

講座が開講してから、今日この舞台に立つまでわずか3ヶ月という短い期間ですが、子どもたちには、楽器からきれいな音を出せたときの嬉しさや、みんなと一緒に演奏する楽しさが芽生えています。

今日の舞台では、子どもたちの成長と、音楽を奏でる楽しさを皆様にも感じていただけることと思います。

小さなヴァイオリニストとチェリストたちの晴れ舞台に、温かいご声援をお願いいたします。

曲目紹介

「ロング・ロング・アゴー」

作曲：トーマス・ヘインズ・ベイリー

ロング・ロング・アゴーは、イギリスの古い歌曲で邦題は「思い出」「久しき昔」です。1833年にイギリスの音楽家、トーマス・ヘインズ・ベイリーによって作曲されました。

この曲を子どもたちと相談して選びました。

「山の音楽家」

ドイツ民謡

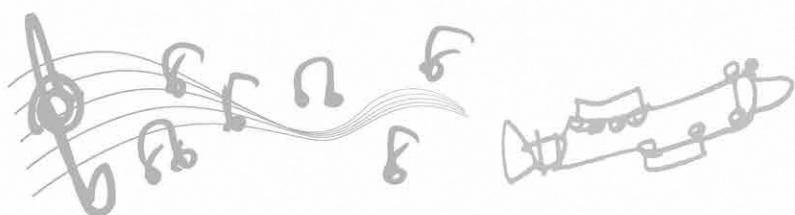
森の動物たちが楽器を演奏する子どもたちの大好きな童謡「山の音楽家」は、元々はドイツ民謡で、いろいろな楽器を弾く人たちのことを歌った歌曲です。

日本では、いろんな動物たちがその姿や雰囲気似合った楽器を手にして紹介するというような楽しい童謡になりました。

「キラキラ星変奏曲」

作曲：鈴木 鎮一

『キラキラ星』は、18世紀末のフランスで流行したシャンソン。1806年の『Twinkle, twinkle, little star』が童謡として世界的に広まり、日本には大正時代に紹介されました。鈴木鎮一氏がこの曲を元に作曲しました。



出演者

受講生 ヴァイオリン

(小1) 尾田幸志朗 栗屋 響暉 櫻井 心晴 田崎 莉奈 満島 愛斗

(小2) 尾口 東紗 滝 彩音 谷川 愛奈 藤本 琉ノ介

(小3) 中村 朱里 中村 理紗

(小4) 金子 千鶴 才津 啓真 櫻井陽奈子 高柳 実希 田中 希幸
早崎 杏

(小6) 江原孝太朗 金子 大悟

チェロ

(小4) 中村 志穂 藤本 遥斗

指導者

指揮	齊藤 享			
ヴァイオリン	梶 耕輔	山本 博子	渡邊到紫子	時津 仁美
チェロ	池田 晴子	村山 和聡		
ピアノ	中野みさと			

プロフィール



子どものための弦楽器講座

「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

指揮・ヴァイオリン指導

さいとう
齊藤

あきら
享

4歳よりヴァイオリンを始める。国際スズキ・メソッド音楽学院卒業。1992年フィラデルフィアに留学。グレン・ドーマン博士の人間能力開発研究所にてヴァイオリン指導も行う。

これまでに安田廣務、鈴木鎮一、ジュリアン・マイヤーの各氏に師事。1996年スズキ・メソッド長崎支部を開設、子ども達の指導にあたる（長崎市岩川町教室、つつじが丘教室、大村教室で行っている）。長崎OMURA室内合奏団に所属。

2010年から2022年の毎年8月9日、長崎の平和祈念式典において、被爆者歌う会『ひまわり』の伴奏を務める。長崎県音楽連盟会員。長崎音楽ボランティア協会会員。その他、イベント会場や披露宴、チャペル等に於いて、クラシックに限らず多彩なジャンルでの演奏活動を各地で行っている。



子どものための弦楽器講座 チェロ指導

いけだ はるこ
池田 晴子

武蔵野音楽大学弦楽器専攻卒業。

チェロの指導及び、弦楽器アンサンブル等の指導をしている。

諫早市在住。



「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

「ジュネス弦楽アンサンブル」は、「子どものための弦楽器講座」の卒業生有志によって2009年に結成されました。毎年、年に数回、町民文化ホールで演奏しています。昨年度は町内外から出演依頼をいただき、子どもたちはいつもとは違う会場で演奏する緊張や喜びを感じることができました。

今回のコンサートでは、数年ぶりにジュネスも合同演奏に参加します。多くの団員が、合同演奏を初めて経験します。他の出演者の皆さんとご一緒できることが、とても楽しみです。

曲目紹介

「カノン」 作曲：ヨハン・パッヘルベル

パッヘルベルは生誕370年になります。カノンは楽曲様式を表す音楽用語で、日本語では輪唱などと訳します。1つのメロディを複数のパートが追いかけるように演奏する形式のことです。「カエルの歌」やベートーヴェンの交響曲第9番「歓喜の歌」が、カノン形式の楽曲として有名です。

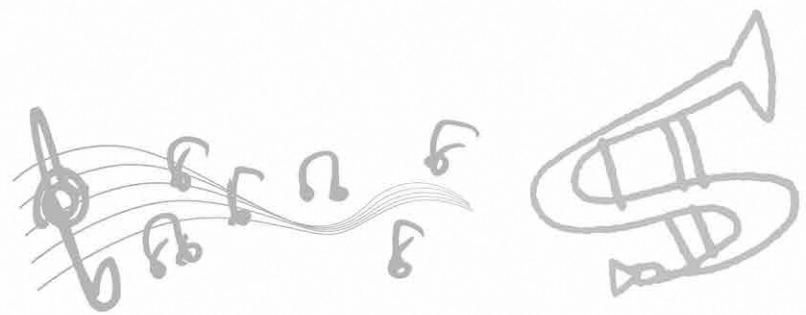
「ハンガリー舞曲第5番」 作曲：ヨハネス・ブラームス 編曲：松尾 智子

ブラームスは生誕190年です。ハンガリー舞曲集は1869年の作品で、全21曲のうち、この第5番が特に有名で広く知られています。

ハンガリーのジプシー（ロマ）音楽が大きく取り入れられており、ハンガリー民謡のチャルダッシュに見られるようなリズムの緩急や変化が織り込まれています。

「愛を込めて花束を」 作曲：多保 孝一 編曲：秋元 結衣

たとえ遠く離れていても、家族は自分に対して愛情をいつも持ってくれている。その想いに感謝して、「愛を込めて花束を」と表現しています。愛情を注いでくれる家族に対して感謝の気持ちを表すことは大切だと感じさせられます。



出演者

ヴァイオリン

8期生 小田川 尊 (社会人) 中野 弾 (中1)
9期生 小林 椿 (中1) 溝上 琴乃 (中1)
11期生 二又 凜心 (小5)
12期生 池田 花愛 (小6) 川口 葉琉 (小4)
13期生 森脇 愛依 (中1) 福田 修子 (小6) 木下 翔太 (小5)
溝田りおな (小5) 中野 喜 (小3)
14期生 永 翔匡 (小6) 黒木海七帆 (小2)
有志 森脇 正樹 (保護者) 吉村 由紀 (卒団生保護者)

チェロ

有志 上河麻衣子 (卒団生保護者)

賛助出演 得田 有里 (チェロ) 古賀 恵 (コントラバス)

指揮 齊藤 享

ピアノ 中野みさと

指導者 梶 耕輔 岩永 雅子 大津 順子 山本 博子

プロフィール



子どものための弦楽器講座

「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル

なかの
ピアノ伴奏 **中野みさと**

神戸女学院大学音楽学部卒業。ピアノを石毛明生・田隅靖子・池田洋子・K.Draftiの各氏に、室内楽を辻井淳氏に師事。日本ピアノコンクール東京本選第3位等の受賞歴。在学中、卒業後も、NY Summit Music Festivalに参加し、E.Briskin・P.Nersessian・D.Joffeの各氏のレッスンを受け、ソロ・室内楽の両演奏会に出演。国内では、堺新人演奏会や大阪ロシア総領事館での室内楽演奏会等に出演。合唱やヴァイオリン、マリンバの伴奏を務め、ヴァイオリン・琴・ピアノの異色トリオ活動も行っていた。現在は子育て真っ只中で、自身の音楽活動はお休み中。

出演者たちの練習風景

子どものための弦楽器講座





出演者たちの練習風景

ジュネス弦楽アンサンブル



平と和を受けつぎし我ら

長崎市立長崎商業高等学校 中村 優音

今 私のいるこの地には、
過去 眩い光が降り注いだ。

沢山の光を受けた人々は、
自らを「影」とした。

「平」とは、あたりまえの意味を成す。
「和」とは、争わぬという意味を成す。

あたりまえに続くこの日常を、
我らの手で護り抜くと誓う。
たとえ、誰に何と言われようと。

この青空に、
幾千もの鶴を羽ばたかせよう。

あの青空のよう、
美しく輝けるように。

日常

長崎市立長崎商業高等学校 平川さくら

新型コロナウイルス
ウクライナ問題
全世界が不安に覆われていた
テレビをつけると多くの死者数
悲惨の情景を映したテレビ
最初はそんな姿に心を痛め
ネットを見ては心が苦しくなっていた
そんな私はどこにいったのだろう
自分の幸せに溺れて
人の苦しさを理解するのをやめて
日常に溶けていく
誰かが苦しんでいる時間を
非日常にしていかなければいけないのだ
誰かが笑って生きられるように
少し背伸びして
手をのばして
幸せなことは日常に
辛いことは非日常に

白い鳩

長崎県立長崎北陽台高等学校 鬼塚 修

この白い鳩に願いを込めて
黒の空気に包まれた記憶
緑の野原はそこになく
あの友を思い涙して
彼は黄色のバラを飾った
赤子を抱えて動かない人
子への愛情引き継いで
遊びに来ている孫を愛で
彼女はタンジーを飾った
おばあちゃんが泣いて語った
その悲しい出来事たちを
友に伝えると決意して
この子はデイジーを飾った
子がはしゃいで親が微笑む
見た空は青く透き通る
今日生きられること感謝して
私はペチュニアを飾った

「願いを始める詩」

長崎県立長崎北陽台高等学校 東雲 啓記

「平和ってどういうこと？」
という疑問に、私ならこう返す。
「平和を願わなくなること」
なぜならそれは常にそこにあるから。
希求する必要も
追求する必要も
言及する必要も
そこには無いから。
だから私はそう返す。

この詩を読んだところで
こんな青臭い詩を詠んでみたところで
血なまぐさい現実が変わったりしないし
気の利いた上手い返しをしてみたところで
話を聞かない彼らが銃弾を打つ手を止めて
くれたりはしない
詭弁だろうか
詭弁だろう
利便性だけが追及される世の中で平和の形
もまた変わっていく
私たちの無力さはそのままに
人に害成す武力はその先に
いつか『平和』という言葉をおぼろげに
それが飽和によるものではなく
講和によるものであることを切に願う
願うことから始めようと思う
想うことから始めようと思う
解答用紙に名前を書くことから始めようと思う
たとえ無回答でもきっとそれは
未回答ではないはずだから



平和の詩掲載



平和な日常を

長崎市立長崎商業高等学校 柳原 千咲

家族の「おはよう」から始まる朝
苦手な数学の授業を受ける昼
友達と笑い合いながら帰る夕方
一日の出来事を思い返しながら眠る夜

こんな普通の毎日が普通ではないのだと
今日のニュースを見て思った

固い地面から起き上がる朝
食料を求め彷徨う昼
崩れた建物の間を一人歩く夕方
「助けてほしい」と願ひ続ける夜

彼らの日常を知っていながら
私達は今の世界を
「平和」と呼べるのだろうか

平和のために

長崎県立長崎北陽台高等学校 中川誠之助

国家のための国民か 国民のための国家か
攻撃のための兵器か 防衛のための兵器か
答えは当然後者だ
だがある国では前者である

元首のための国民か 国民のための元首か
総帥のための軍隊か 軍隊のための総帥か
答えは当然後者だ
だがある国では前者である

だから私たちは 立ち上がらなければならない
惨憺たる軍事侵攻を終わらせるために
艶やかな郷里を取り戻すために

小中大の想い

長崎県立長崎北陽台高等学校 安部 遥

今の日本は平和だよ！だって
毎日ご飯が食べられる！
柔らかな布団で眠られる！
学校へ毎日行ける！
小さい子がそう言った。

本当に平和なの？
食材を作っている人がきちんとお金を貰えなくて…
布を断裁している人が同じようにお金を貰えなくて…
児童労働者が居て…
こんな人たちがいる世界で日本は本当に平和なの？
中高生がそう言った。

この世界が平和になる時は、きっと世界の皆が平和に
ついて考える時だと思うよ。
大人の人がそう言った。

平和

長崎県立長崎北陽台高等学校 富永 裕介

お腹がすいた
眠たいなあ
友達とへとへとになるまで遊びたい

家に帰ったらおいしいご飯が食べれる
温かいふとんでぐっすり眠れる
たくさんの友達といつでも遊べる

家庭が平和
心が平和
人間関係が平和
この世界には
まだまだたくさんの平和があふれてる

平和だったら何でもできる
平和は僕を自由にしてくれる
平和ってなんて素晴らしいんだ！
このことを忘れず、明日も生きよう！

小さな平和を大切に

長崎市立長崎商業高等学校 滝波 七海

鳥が自由に 空を飛ぶ
魚が自由に 海を泳ぐ
道端の草が 背を伸ばす
小さな平和 見つけたよ

お腹が空いたら 食べられる
のどが渴けば 水を飲む
好きな形の 服を着る
小さな平和 見つけたよ

やりたいことに 夢中になる
隣の誰かと 笑っている
初めての人と 出逢いがある
小さな平和 見つけたよ

身の回りをよく 見てみると
小さな平和で たくさんです
小さな平和を 大切に

未来の私たちへ

長崎市立長崎商業高等学校 村上 凜音

一九四五年の夏起こった事を
人々はいつまで覚えていられるのだろう
辛く悲しく寂しい記憶を
いつまで受け継いでいけるのだろう
実体験を話せる人が減っていく今
未来の高校生は実体験を聞くことができない
人が紡ぎ語り継いできた歴史を聞くことになる
人の気持ちは本人にしか分からないから
まるで歴史の学習みたいに
起きた事だけが語り継がれるかもしれない
だからこそ
実際に被爆者の方から話を聞くことができた私たちに
すべき事は沢山ある
気持ちや想いを語り継ぎ
共に努力すること
今を生きている幸せに気付いてもらうこと
そして日本という私たちの居場所を
いつまでも大切にしていくこと
いつかこの詩を見た未来の私たちが
少しでも平和について考えてくれることを願います

長崎県央に位置するシーハットおおむら（さくらホール）を拠点に、プロの室内オーケストラとして、県内在住及び出身演奏家等を中心に2003年結成、追昭嘉（ピアノ）を音楽監督として始動。2009年よりアーティストック・アドバイザーに松原勝也（ヴァイオリン）を迎え、さらなる演奏力や音楽性の向上に努めながら質の高い室内オーケストラを目指している。日本オーケストラ連盟準会員。

曲目紹介

「影と光 ～フルートと弦楽三重奏のための～」

作曲：J.カステレード

- I. Allegro piacevole（速く楽しそうに）
- II. Nocturne et immobile（静かな夜想曲）
- III. Vivace con spirito（元気にいきいきと）

ジャック・カステレードは1926年、フランスはパリに生まれた作曲家です。

彼のお父さんは第一次世界大戦後のパリで理髪店を営んでいましたが、息子が音楽への興味と憧れを抱くことを妨げることはしませんでした。おかげで彼は、メキメキと音楽家としての才能を開花させて沢山の作品を残します。

特に管楽器の作品は素晴らしいものが多く、フルート吹きで彼の名前を知らない人はいないと思います。

とはいえ、本日演奏する「影と光」は2010年（亡くなる4年前）に作曲されたまだ新しい作品で、私はこの作品を今回初めて知りました。

エッフェル塔そびえるパリの雨上がりの美しい街を夕陽が照らし、昼と夜の間の一瞬の時間、夜の静寂を待つ濃紺の空に虹がかかっている…そんなCDのジャケットの幻想的な絵に心奪われて、ぜひ演奏してみたいと思いました。

そして、なんとも素敵なタイトル…！

1楽章では澄み切って瑞々しい空気が、2楽章では心に問いかける内面的な旋律が、3楽章では希望に満ちた光の粒が降り注ぐようです。

まるで水彩画のように美しいこの作品を、私達と一緒にご堪能いただけたらと思います。

「平和コンサートinながよ」アウトリーチコンサートの様子

「平和コンサートinながよ」の一環として町内の小学校3校（6月1日長与南小学校、6月5日高田小学校、長与北小学校）にてアウトリーチコンサートを実施しました。プロの生演奏に子どもたちは心をひきこまれ、熱心に聞き入っていました。

※「アウトリーチ」とは「手を伸ばす」という意味で、演奏家が観客の元へ出向き、音楽に触れる機会を提供することを目的にしています。



出演者

フルート 永留 結花

ヴィオラ 岡本 誓志 (賛助出演)

ヴァイオリン 中西 弾

チェロ 田辺 清士

プロフィール



永留 結花 (フルート)

大村市出身。
武蔵野音楽大学音楽学部器楽学科卒業。
同大学卒業演奏会、新人演奏会出演。
第34回 長崎県新人発表演奏会に出演、準グランプリ受賞。
第59回 西日本国際音楽コンクール最高位受賞。
フルートを濱砂由美子、中山早苗、吉岡アカリの各氏に師事。
これまでに2枚のオリジナルCDをリリース。
現在、長崎OMURA室内合奏団団員。
永留結花フルート教室主宰。



中西 弾 (ヴァイオリン)

長与町出身。5歳からヴァイオリンを始める。
長崎県新人発表演奏会、西日本出身新人紹介演奏会に出演。第10回宮日音楽コンクールにて優秀賞を受賞。川口千穂、故松村英夫、松野弘明、豊嶋泰嗣の各氏に師事。長崎OMURA室内合奏団団員。
クラシックに留まらずポップス、オリジナル楽曲とライブ活動を積極的に展開。クルーズトレインななつ星in九州での演奏クルーとして乗務。葉加瀬太郎オーケストラコンサート2021、2022参加。これまでに自身のオリジナル楽曲を収録したCDを10枚リリースする等、楽曲制作も精力的に行っている。



岡本 誓志 (ヴィオラ)

長崎市出身。千葉大学理学部卒。3歳よりヴァイオリンを始め、弾くんの弾くヴィタリ作曲シャコンヌに憧れて、苦しいときも泣きながらヴァイオリンを続ける。長崎ジュネス、諫早交響楽団、長崎北高校オーケストラ部等で合奏、音楽の楽しさを学ぶ。大学進学を期に、ヴィオラを弾く両親の影響、また体格の良さを活かしヴィオラを始める。大学卒業後は関東で働いていたが、長男誕生を機に長崎へUターン転職し、現在は長与町在住。これまでにヴァイオリンを川口千穂、片田江智子、松岡洋子の各氏に、ヴィオラを小山貴之氏に師事。第20回長崎若い芽のコンサートにヴァイオリンで、第42回長崎県新人演奏会にヴィオラで出演。



田辺 清士 (チェロ)

愛知県名古屋市出身。9歳よりチェロを始める。長崎大学工学部機械システム工学科卒業後、長崎大学大学院教育学研究科音楽教育専修を修了。チェロを林良一、宮田浩久各氏に師事。県内各地で室内楽を中心に活動している。長崎OMURA室内合奏団コントラバス奏者、亀子政孝と低弦アンサンブルBottom line stringsを結成し、クラシック曲の演奏のみでなく詩の朗読と共演する等様々な活動を行っている。長崎OMURA室内合奏団団員。長崎県音楽連盟会員。2013-14、2017-18年度長崎市アウトリーチ事業登録アーティスト。

「平和コンサートinながよ」合唱団

長与町内外で活動している長与プラム混声合唱団・オレンジハーモニー・高田コールファミリエ・コーロあやめ・長崎アカデミー男声合唱団の各合唱団団員有志・個人がコンサートの趣旨に賛同し、平和のハーモニーを発信しようと「平和コンサートinながよ合唱団」として毎年5月に新たに結成されます。毎週土曜日に集まり、それぞれの曲で歌われる歌詞の願いとその合唱の響きの中に「調和の世界」への思いを皆で確認し、一人ひとりのパートの音そしてパートの音が重なり合って作り出す和音を確認かめ合って8月に向かって練習を重ねてきました。平和への思いを込めて「パワフルな和の合唱」をお届けします。

曲目紹介

「君死にたまたまことなかれ」

作詩：与謝野晶子 作曲：指方 浩

1969年、私が高校2年生の時、「ベ平連」（ベトナムに平和を市民連合）の反戦フォークソングを歌う運動のなかで作曲しました。デモや反戦集会でこの曲が歌われることはありませんでしたが、50年以上の時を経た今「平和コンサートinながよ」のために合唱用に編曲しました。作曲した高校生の中の自分に出会えたような懐かしい気持ちと、十代より変わらない作曲姿勢に自分でも驚いています。与謝野晶子がこの詩を発表した時、家に石が投げられ大きな波紋が広がったと記録にあります。新五千円札の肖像の候補の1人にも挙がっていましたが諸事情によりそれはありませんでしたが、この詩はこれから先ずっと読まれ、歌われ続けられることでしょう。

「わたしが一番きれいだったとき」

作詩：茨木のり子 作曲：指方 浩

茨木のり子にお目にかかったという友人から勧められて氏の作品を愛読するようになり、二十歳の頃より多く作曲しています。この曲は女声合唱によって2002年に初演されました。世界各地で起きている紛争を痛み、今なお私の耳底に残る茨木のり子氏の声を思い、「平和コンサートinながよ」合唱団のために、嘆きではない憤りの混声曲として再編曲しました。戦争を・武力の威圧による解決を問い直す歌として共に考えていただきたいと思います。

合同演奏

「千羽鶴」

作詞：横山 鼎 作曲：大島ミチル 編曲：三河 正典

被爆五十周年記念歌として1947年の応募の中から選ばれた詞に、長崎出身の作曲家大島ミチル氏が作曲しました。平和への願いがこめられたこの曲は、1995年より毎年8月9日の平和祈念式典で合唱されています。原爆資料館では毎日11時02分に流されるほか、毎月9日に長崎市の防災行政無線でも放送され、長崎市役所の電話の保留音としても採用されています。平和への願いを折り鶴に込めて歌いたいと思います。

2011年3月11日に発生した東日本大震災の被災地および被災者の物心両面の復興を応援するために制作されたチャリティーソングです。作詞者、作曲者ともに宮城県仙台市の出身で、作詞者岩井俊二さんは「亡くなった人たち、生き残った人たち、あの震災を遠くから心配していた人たち、それぞれが一体どんな想いをしているのか、数行では到底描きようもない想いの、せめて僅かな片鱗でも書き留めることができたなら、という想いで書きました」と、また作曲者の菅野よう子さんは、「100年経って、なんのために、あるいはどんなきっかけで出来た曲か忘れられて、詠み人知らずで残る曲になるといいなあと思っています」と語っています。今、戦争によって犠牲となった人々の願いとしても歌い直し、皆さんと一緒に思いを伝えていきたいと思っています。

出演者

指揮	指方 浩				
ピアノ	大塚 裕子				
ソプラノ	指方美智子	下野 薫	高塚 祐子	滝田みどり	
	浜岡まゆみ	平野みどり	水島 節子		
アルト	田中 昭子	辻 奈津紀	長谷川佐紀子	姫野みどり	
	松本 昌子	松本由美子			
テノール・バス	下野 康文	朝長 初巳	長谷川則昭	山崎 寛	
	横田 建次	吉田 聿憲			
斉唱	大久保美紀	佐々野千恵	田中 能子		

プロフィール



「平和コンサートinながよ」合唱団 指揮 ^{さしかた}指方 ^{ひろし}浩 (作曲家)

長崎県生まれ。大阪音楽大学作曲学科卒業、同大学大学院修了。近藤圭・平井康三郎各氏に師事。大学院修了後長崎に帰り、長崎大学附属中学校、活水高校で教鞭を執る。その後、新しい音楽教育を求め渡米、音楽指導法をコロンビア大学教授R・ペース氏に学ぶ。

現在、指方音楽工房を経営し、ピアノ・音楽指導にあたる傍ら、東京・大阪を始め全国各地の講習会・研修会で講師を務める。

作曲作品は合唱曲・器楽曲の他、長与北小学校校歌、長与第二中学校校歌、など十数校の校歌を作曲している。またその親しみやすいメロディーの歌曲や合唱作品は全国各地で様々な人たちに毎日のように歌われている。

長崎ママのコーラス、コーロあやめ指揮者。アンサンブル「浩々」主宰。



「平和コンサートinながよ」合唱団 ピアノ伴奏 ^{おおつか}大塚 ^{ゆうこ}裕子

活水高校音楽コース、フェリス女学院音楽科卒。長崎県新人発表演奏会、西日本新人紹介演奏会に出演。姉とピアノデュオ「デュオ・スール」を結成、連弾、2台ピアノによるアンサンブル活動をしている。十八親和銀行混声合唱団他、複数の合唱団の伴奏者。長崎純心大学非常勤講師、長崎県音楽連盟運営委員。長崎音楽ボランティア協会会員。

2023平和コンサートinながよ

君死にたもうことなかれ

作詩：与謝野晶子 作曲：指方 浩

ああおとうとよ 君を泣く
君死にたもうことなかれ
末に生まれし君ならば
親のなさはまさりしも
親は刃をにぎらせて
人を殺せとおしえしや
人を殺して死ねよとて
二十四までをそだてしや

堺の街のあきびとの
旧家をほこるあるじにて
親の名を継ぐ君ならば
君死にたもうことなかれ
旅順の城はほろぶとも
ほろびずとて 何事ぞ

君は知らじな あきびとの
家のおきてに無かりけり

君死にたもうことなかれ
すめらみことは 戦いに
おおみずからは出でまされ
かたみに人の血を流し
獣の道に死ねよとは
死ぬるを人のほまれとは
大みこころの深ければ
もとよりいかで思されん

ああおとうとよ 戦いに
君死にたもうことなかれ
すぎにし秋を父ぎみに

おくれたまえる母ぎみは
なげきの中に いたましく
わが子を召され 家を守り
安しと聞ける大御代も
母のしら髪はまさりぬる

暖簾のかげに伏して泣く
あえかにわかき新妻を
君わするるや 思えるや
十月も添わでわかれたる
少女ごころを思いみよ
この世ひとりの君ならで
あまた誰をたのむべき
君死にたもうことなかれ

わたしが一番きれいだったとき

作詩：茨木のり子 作曲：指方 浩

わたしが一番きれいだったとき
街々はがらがら崩れていって
とんでもないところから
青空なんかが見えたりした

わたしが一番きれいだったとき
まわりの人達が沢山死んだ
工場で 海で 名もない島で
わたしはおしゃれのきっかけを落してしまった

わたしが一番きれいだったとき
だれもやさしい贈物を捧げてはくれなかった
男たちは挙手の礼しか知らなくて
きれいな眼差しだけを残し皆発っていった

わたしが一番きれいだったとき
わたしの頭はからっぽで
わたしの心はかたくなで
手足ばかりが栗色に光った

わたしが一番きれいだったとき
わたしの国は戦争で負けた
そんな馬鹿なことであるものか
ブラウスの腕をまくり卑屈な町をのし歩いた

わたしが一番きれいだったとき
ラジオからはジャズが溢れた
禁煙を破ったときのようにくらくらしながら
わたしは異国の甘い音楽をむさぼった

わたしが一番きれいだったとき
わたしはとてふしあわせ
わたしはとてとんちんかん
わたしはめっぽうさびしかった

だから決めた できれば長生きすることに
年とってから凄く美しい絵を描いた
フランスのルオー爺さんのようにね

vol.24 歌詞集

千羽鶴

作詞：横山 鼎 作曲：大島ミチル 編曲：三河 正典

平和への誓い新たに 緋の色の鶴を折る
清らかな心のままに 白い鶴折りたたみ
わきあがる熱き思いを 赤色の鶴に折る

平和への願いをこめて 緑なる鶴を折る
地球より重い生命よ 藍の鶴折りたたみ
未来への希望と夢を 桃色の鶴に折る

平和への祈りは深く 紫の鶴を折る
野の果てに埋もれし人に 黄色い鶴折りたたみ
水底に沈みし人に 青色の鶴を折る

未来への希望と夢を 虹色の鶴に折る

花は咲く

作詞：岩井 俊二 作曲：菅野よう子 編曲：三宅 一徳

真っ白な雪道に春風香る わたしはなつかしい
あの街を思い出す 叶えたい夢もあった
変わりたい自分もいた 今はただなつかしい
あの人を思い出す 誰かの歌が聞こえる
誰かを励ましてる 誰かの笑顔が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう

報われず泣いたりして 今はただ愛おしい
あの人を思い出す 誰かの想いが見える
誰かと結ばれてる 誰かの未来が見える
悲しみの向こう側に
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く わたしは何を残しただろう
花は花は花は咲く いつか生まれる君に
花は花は花は咲く いつか恋する君のために

夜空の向こうの朝の気配に わたしはなつかしい
あの日々を思い出す 傷ついて傷つけて

ふるさと

作詞：高野 辰之 作曲：岡野 貞一

一、うさぎ追いし彼の山
こぶな釣りし彼の川
夢は今もめぐりて
忘れがたきふるさと

二、いかにいます父母
つつがなしやともがき
雨に風につけても
思いいづるふるさと

三、志をはたして
いつの日にか帰らん
山は青きふるさと
水は清きふるさと

JASRAC 出 2304885-301

長与町町歌

— 明日をひらく —

作詞 山田 喜孝
作曲 指方 浩

Allegretto *C mf*

1. みどりよ やまよ さやかな かかかな ぜぜよ そら
2. ひかば よかう みよ ささや かかかな ぜぜよ そら
3. ぎんは よかう みよ ささや かかかな ぜぜよ そら

はれく ましす み て こ と の お の や ま
く - - すずみ に こ と が - の お の わ か ま
- - やさし い こ と - の お の み か が

のぞや - すい その のま にち ひ らき けい たき ると うつ
- - く それ まき し た よ よ たき っ て ゆへ -

Am F G7 C G7
くたい しかわ いなな さささ とと わがが まま ちち なな がが よよ
- - - - -

f F Em Dm G
1~3. あ い と こ こ ろ と ふ れ あ い の

F Em D7 G
ゆ め と のぞ み が ふ く ら ん - で

C mf Em F E7 *v f*
あしたをひらく こえはずむあし

Am F G C
たをひらくこえはずむ

一、緑よ 山よ さやかな風よ
空は真澄みて 琴の尾の
山のすそ野に ひらけたる
美しい里 わが町長与
※愛と心と ふれあいの
夢と望みが ふくらんで
明日をひらく 歓声はずむ
明日をひらく 歓声はずむ

二、光よ 川よ さやかな風よ
流れ静かに 長与川
川沿いの町 生き生きと
豊かな里 わが町長与
※(繰り返し)

三、銀波よ 海よ さやかな風よ
広く優しい 琴の海
輝く歴史 漂って
平和な里 わが町長与
※(繰り返し)

町歌「明日をひらく」

平成元年、長与町町制20周年を迎えるにあたり、みんなで歌える町の歌をとということで制作されました。ハ長調で書かれた明るくリズムカルなこの曲は、記念式典における長与町の全合唱団団員100余名の歌声による発表以来、町内の各種行事、音楽祭、発表会、公民館講座の中で歌われ、夏休み・冬休みには小中学生の帰宅の放送としてもその軽やかなメロディーが町内に流れています。今日は合唱と管弦楽器により演奏されます。どうぞ皆様も一緒に“♪明日をひらく我が町長与”をお歌いください。

出演者たちの練習風景

「平和コンサートinながよ」合唱団





PROGRAM

14:00開演 15:45終了予定

町長挨拶

- ① ロング・ロング・アゴー
山の音楽家
キラキラ星変奏曲

子どものための弦楽器講座
指揮 齊藤 享
ピアノ 中野みさと

- ② カノン
ハンガリー舞曲第5番
愛をこめて花束を

「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
指揮 齊藤 享
ピアノ 中野みさと

- ③ 平和の詩朗読

朗読 長崎県立長崎北陽台高等学校生徒
長崎市立長崎商業高等学校生徒

- ④ 影と光
～フルートと弦楽三重奏のための～

長崎OMURA室内合奏団
永留 結花、中西 弾、田辺清士、岡本誓志（賛助）

休憩（10分間）

- ⑤ 君死にたまたまことなかれ
わたしが一番きれいだったとき

合唱 「平和コンサートinながよ」合唱団
指揮 指方 浩
ピアノ 大塚 裕子

- ⑥ 千羽鶴
花は咲く

合唱 「平和コンサートinながよ」合唱団
指揮 指方 浩
ピアノ 大塚 裕子

- ⑦ 長与町町歌「明日をひらく」
ふるさと

長崎OMURA室内合奏団
「平和コンサートinながよ」ジュネス弦楽アンサンブル
子どものための弦楽器講座指導者

「平和コンサートinながよ」実行委員会

委員長 指方 浩 副委員長 中西 弾

委員 平野 義久 梶 耕輔 時津 仁美 姫野 みどり

会場アナウンス：長崎県立長崎北陽台高等学校放送部 吉川 元・志田ひなた

主催：長与町・長与町教育委員会・平和コンサートinながよ実行委員会

共催：長与町文化協会